

国防は最大の
福祉である
初代会長 高橋季義



國の支え

中井信夫元大阪府議会議長

関西防衛を支える会
(略称・関防会)

〒540-0029
大阪市中央区本町橋2-23
(第7松屋ビル)
TEL 06-4256-4868 FAX 06-4256-4869
発行人 松田 清
編集人 小野元裕
印刷所 (株)新聞印刷

第90号

(夏季号)
令和5年8月1日(火)
(皇紀2683年)
(大正紀元112年)
(昭和紀元98年)
(平成紀元35年)

関西防衛を支える会25周年記念感謝祭を開催



ご挨拶

明るい会の運営、明確な財政運営、 自衛隊員の心に沿って

関西防衛を支える会 会長 松田 清

この度、会長に推挙されました松田清でございます。お陰を持ちまして「関西防衛を支える会」も25周年を迎え、5月14日の定期総会後、「25周年記念感謝祭」を開催することができました。これもひとえに会員皆様の変わらぬご支援とご協力のお陰でございます。改めて心よりお礼を申し上げます。

更ながら自衛隊員は平時にあっては戦場にあるのだという痛感を感じました。「関西防衛を支える会」は、この25年間、一貫して民間の有志による自衛隊支援団体として自衛隊活動を支援して参りました。このような事件事故の発生を見るにつけ、今こそ国民の支援が必要ではないかというところを再認識いたしました。

振り返りますと、この東アジアの25年、国際情勢は台湾および尖閣諸島問題、北朝鮮のミサイルと核問題など、現実的に大きな脅威となり差し迫ってきております。政府もここにきて防衛政

策の抜本的見直しを図っておりますが、この度、最前線にあり第8師団長等10人の方の尊い殉職、また岐阜の射撃場事件による2人の殉職などの報道に接し、今



副会長就任挨拶

国民の安心安全を担う自衛隊を支援

関西防衛を支える会 副会長 新井 信彦

この度、「関西防衛を支える会」副会長に就任いたしました新井信彦でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私が大和銀行香港支店長時代(平成7年10月から平成11年6月)の香港はまだ英国の統治下にありましたが、平成11年7月に主権が中国に返還されました。その間の香港民主化運動と中国共産党による弾圧、1国2制度の形骸化は報道された通りでございます。そして、今は強大な軍事力を持つ中国の台頭と台湾政策、尖閣諸島に対する日常化した領海侵犯を見るにつけ、国家間には常に軍力というパワーバランスの中にあり、中国の強大さと今後の東アジア情勢に大きな危惧を持って帰国した思いがあります。

我が国は平和憲法の制約下で今日に至っておりますが、国際間の紛争も、災害も備えがなくてはなりません。幸いここにきて国は国防政策を見直し、国防力と軍事産業の育成に着手しようとしております。私は民間人の一人として、国防

私は自衛隊とは無縁の銀行出身であります。大和銀行(現りそな銀行)に入行後は香港支店長、国際部長等に国際畑を歩き、海外から戦後の日本の国防を

感して参りました。りそな銀行を退職後はセキュリティ産業である東洋アック株式会社社長の社長・会長を務め現在は相談役をしております。

そのような関係から国民の安心安全、国家の安全を担う自衛隊には早くから関心があり、今回「関西防衛を支える会」の副会長就任を要請されお受けした次第です。そして、今は強大な軍事力を持つ中国の台頭と台湾政策、尖閣諸島に対する日常化した領海侵犯を見るにつけ、国家間には常に軍力というパワーバランスの中にあり、中国の強大さと今後の東アジア情勢に大きな危惧を持って帰国した思いがあります。

第102回 関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内

日時 令和5年9月30日(土曜日) 16時から
講師 河添恵子氏(ノンフィクション作家、ジャーナリスト)
演題 「大逆転の世界～G7vs中国、日本のこれから～」
会費 7,000円、未会員7,000円(含む懇親会代)
講話のみ:会員2,000円、未会員3,000円
会場 キャッスルホテル (☎06-6942-2401)

関防会オリジナル帽子を限定販売

特価 1,000円(税込み)
紺色 白色

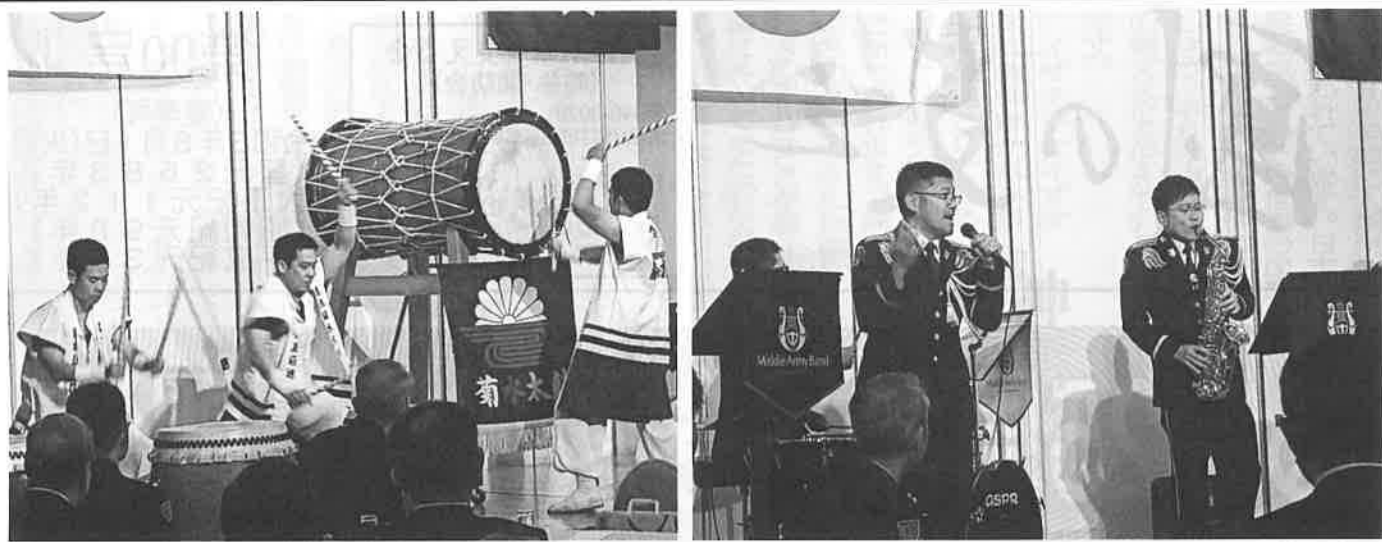
秋の1泊研修のご案内

10月22日(日)・23日(月)
秋の信州で、自衛隊・旧軍遺跡を見学しましょう! 陸上自衛隊松本駐屯地を訪問し、山岳地域の防衛警備を担当する第13普通科連隊にて研修、更に松代大本営跡(本土決戦を想定し、海岸から離れた場所への中樞機能移転計画に基づき構築された)で歴史を学ぶと共に、夜の懇親会では信州料理で会員相互の交流を図りましょう。

本部総会ご報告

5月14日

KKRホテル大阪にて開催されました。総会では、松田清会長代行が正式に会長に選任されました。防衛講話は、松田会長と懇意にされている大阪府松原市出身の第28代海上幕僚長、吉川榮治氏にお願いいただき、海上自衛隊と海上保安庁の連携についてお話しいただきました。また、今年は関西防衛を支える会創立25周年で



和太鼓で会場を盛り上げる

軍歌を熱唱する隊員

よく海上保安庁と海上自衛隊は仲が悪いと言われます。その理由ですが、昭和23年海上保安庁創立時はアメリカが占領下で、公職追放が行われました。元海軍軍人や士官学校卒業生は追放の対象となっており、公職に就くことはできません。それに対し、海上保安庁を創立した人達は一般の学校を卒業していたので、占領下でも公職に就くことができたのです。そのような経緯が禍根を残すことになりました。しかし、今はお互いに力を合わせて日本の海を護っています。平成11年3月に起きた能登半島沖不審船事件についてお話しします。大変なスピードで移動しており、海上保安庁の船は燃料が切れ、追跡しきれず、日付が変わった時に不審船が停船しました。海上保安庁の能力を越えているというところで、海上警備行動が発令されました。ところが、当時防弾チョッキもありませんでした。海上保安庁の権限は警察官職務執行法しかありませんので、相手に危害を加えることができません。彼らは相手を逮捕して、裁判にかけてはならないからです。この事件があってから、海上保安

関西防衛を支える会 第26回定期総会・防衛講話



熱弁をふるう吉川榮治氏

防衛講話 令和5年5月14日

日本の海のみもり

第28代海上幕僚長 吉川榮治

携も深まりました。特別警備隊はヘリコプターや高速ボートから不審船に乗り移ったり、潜水もできる特殊部隊です。部隊は江田島にあります。海上自衛隊の護衛艦の積む大砲と同じサイズです。そして、海警法は違反行為のある外国船に対し強制退去が可能であり、武器を使用することもできます。尖閣に灯台が設置されていますが、この維持管理のため、海上保安庁が年に1回上陸します。その時に中国にこういった法律を適用されると大変なことになる。国際法において公船に対して武器の使用は禁じられています。しかし、もし海警局が武器を使った場合、海上自衛隊および海上保安庁は時どきのように行動すれば良いのか明確になっていないことが問題です。普段、領域警備法に基づいて行動していますが、それだけでは不十分です。新たな法律が必要だと思います。また、日本には軍事裁判がありません。自衛隊がこれだけ頻繁に海外で活動するようになったのですから、整備すべきだと思います。

大ロシア主義により ロシアはウクライナ戦争を起した

日本ウクライナ文化交流協会 会長 小野 元裕

ブダペスト覚書に裏切られたウクライナ

1991年のソ連崩壊でウクライナが独立したとき、約1,900の核兵器がウクライナ国内に残された。これに危機感を覚えたのがロシアだ。完全に排除しなければ、将来ロシアが攻められると恐れた。他国へ侵攻する心があるのだから、核兵器を奪取しなければならぬ。ウクライナを他国から守るといふ嘘の約束をしてまでも、心では全く思っていない。口先だけだ。国ができたばかりのウクライナは足元が固まっておらず、否応なくその提案を飲むことになる。

積年の恨みがウクライナ人を奮起させた

世界がよそ見しているのをいいことに、ロシアはクリミアを足がかりにして、東ウクライナへ魔の手を伸ばした。「第3次世界大戦が始まった」とウクライナ人が叫んで助けを求めた。世界はだまりを決めた。ウクライナ人は愛国心を燃やし、わずかな武力でロシアと戦わざるを得なくなった。当初、プーチンは一挙にウクライナを手中に納める予定だった。そして、ロシア、ウクライナ、ベラルーシを束ねたスラブ3国同盟を築き、そのトップとなる計画を練っていた。さらに元ソ連の15カ国を結束しなおい、新生ソ連を作り直し、ロシア人の力を世界に見せつけようとしていた。最終目的はプーチン帝国だった。

ウクライナ人は大ロシア主義と決別した

あのときにロシアを排除すべきだったというが、後の祭りだ。世界はロシアを甘く見ていたし、本当の姿を見誤っていた。もったい無い表現を使えば、災難が自分に降りかかってくることは想像もせず、他人事として考えていなかった。ヨーロッパの外れで、同じスラブ民族同士の痴話喧嘩くらいに見ていた。今、ウクライナ人は核兵器を手放したことを後悔している。あのとき、ブダペストの覚書を受け入れず核兵器を持っていたら、こんなことにならなかったと唇をかむ。丸腰になったロシアから始まったという歴史を作り上げようとした。ウクライナからロシアを一人残らず殺し、ロシアはロシアから始まったという歴史を作り上げようとした。ウクライナからロシアを一人残らず殺し、ロシアはロシアから始まったという歴史を作り上げようとした。ウクライナからロシアを一人残らず殺し、ロシアはロシアから始まったという歴史を作り上げようとした。

暴挙を批判していた彼らは、なぜ放送が打ち切られたのか理解できなかった。それは、ロシア人でさえ気づいていない大ロシア主義が顔を出したからだ。プーチンは悪く、ロシア政府は間違っていると批判しながらも、本当のロシアは素晴らしいロシア民族の力によってラトビアも発展し、豊かになることができるといふ内容を放送し始めた。ラトビア人は驚き、嫌悪感を感じた。ラトビア政府はすぐに放送を止めた。ロシア人夫婦は居場所を失い、ラトビアを出ることに。これらことから分かるように、ロシア人は意識しているかいないかにかかわらず、他民族を見下している。その意識が集まり、他国へ攻め入るといふ行動となる。

歴史を遡れば、ウクライナ、ロシア、ベラルーシは同じ東スラブ人だったかもしれない。しかし、今はそれぞれが独立した国家なのだ。武力を持って押し入ることは許されない。日本を例に出すと、よく分かる。我々日本人の多くはモンゴルがルーツだからといって、日本がモンゴルに攻め入り、日本モンゴル大帝国を作ろうとすればどうだろうか。噴飯物である。国際社会から大きな非難を浴びるだろう。ウクライナに1日も早く平和が戻ることを祈る。肝心のウクライナが勝利して平和が来るのだ。ウクライナは世界の盾になって戦っている。ウクライナの勝利は独裁国家に対する民主主義国家の勝利でもある。ウクライが勝たなければ、世界に未来はない。

歴史勉強会

中島サロン

第99回
6月10日

舞鶴赤れんがパーク2号棟

海上輸送ができれば、日本の貿易は成り立ちません。日本の国土面積は世界で第62位ですが、海洋面積は第6位とかなり大きいのです。そこにはレアメタルなど多くの資源が埋蔵されています。また、豊富な水産資源もあります。また、海底ケーブルは世界中に張り巡らされています。海底ケーブルをしっかりと守ることも重要で、もし、ケーブルが遮断されれば、銀行決済ができなくなり、日本の会社にお金が入らなくなるという状況になります。

中国の影響が世界に拡大しており、特に東シナ海・南シナ海では活発に活動しています。また、一路に基づきシルクロード・欧州を押し進めています。海上自衛隊はアフリカのジブチに駐在しておりますが、そこにも中国の大きな拠点ができています。ジブチが政治的に中国に飲み込まれるのではないかと不安があります。

ロシア軍の軍事作戦目標は、ルハンスク州・ドネツク州を独立させること、抑圧されているロシアシベリアの保護すること、首都キーウの占領です。そして、ヘルソン州等の南部からの侵襲です。ロシアの侵襲作戦がうまく行っていない理由は、5つの方向から侵襲しなごにより、力が分散してしまっただけです。また、それぞれの司令が別々の作戦を行っており、ロ

ウクライナ情勢が台湾に伝播する可能性についてですが、ロシアとウクライナの関係、中国と台湾の関係は、核心的利益という点で共通しています。プーチン政権と習近平政権は共に独裁的な長期政権です。ウクライナにはロシア寄りの人びとが、台湾には中国寄りの人びとが住んでいます。ことがあれば、その人びとを守るという理由で侵襲することが考えられます。また、ウクライナはNATOに加盟していないため、ロシアの侵襲は、中国にとってもいいモデルケースとなってしまうでしょう。

歴史勉強会

中島サロン

ホテルKKR大阪

第100回
12月10日

(キルチェン、ミサイル防衛、大量報復)が整っています。キルチェンとは、ミサイルが発射される兆候を発見するとすぐに相手を攻撃することです。現在は高度に衛星を上げるのではなく、低い高度にたくさん衛星を上げて、連携を取る「衛星コンステレーション」という方式が一般的です。キルチェンの考え方は昔からありましたが、湾岸戦争時、イラクは安価なスカッドミサイルを国中に配備し、多国軍は手ごずりませんでした。そのため、アメリカは飛行機「ジェイスターズ」を開発しました。しかし、全てのミサイルを発見することはできませんでした。

イラク戦争時、アメリカは民間人にも被害を与えてしまいました。2014年にロシアがウクライナにも被害を与えてしまいました。

アメリカの偵察衛星「キーホール」の性能は非常に優れており、車のナンバーも読むことが可能です。しかし、弱点は日に1回しか確認できません。そこで、移動できるTEL(輸送起立発射機)が開発されました。北朝鮮でも使われています。自分で移動して、どこからでもミサイルを発射できます。

ウクライナにおいてロシアは約15,000発のロケットミサイルを発射しました。その内約7割が民間施設に着弾しています。ウクライナにはドニエプル川という大きな川があります。川を渡って危険な場合は、同じ場所に留まり、相手が近づいた時に攻撃する方が有利な場合もあります。ウクライナは土地が肥沃であるため、ぬか

が発生しやすい地域です。3月から11月は凍結しないため、戦車が走りやすくなります。ウクライナは戦車や装甲車が不足しています。

北朝鮮は「火星17」という大陸間弾道ミサイルを先月飛ばしました。1時間近く飛んで、日本のEJ2に落下しました。今年の春に同じミサイルを飛ばしましたが、失敗しました。彼らは米韓から脅威を受けていると思込んでいます。成功するまでミサイルを飛ばすのです。その頃、米韓が4年振りに共同訓練を行っていました。分析によると、北朝鮮はそれにかなり恐怖感を感じていたようです。特にアメリカの超音速爆撃機が怖いのです。レーダーにもほとんど映りません。北朝鮮の防衛力はほぼミサイルに頼っています。防空能力はありません。「選択と集中」が進んでいます。

アメリカの偵察衛星「キーホール」の性能は非常に優れており、車のナンバーも読むことが可能です。しかし、弱点は日に1回しか確認できません。そこで、移動できるTEL(輸送起立発射機)が開発されました。北朝鮮でも使われています。自分で移動して、どこからでもミサイルを発射できます。

明日の安全保障環境を考える

防衛大学校 戦略教育 教授 大内研治氏

海上自衛隊はアフリカのジブチに駐在しておりますが、そこにも中国の大きな拠点ができています。ジブチが政治的に中国に飲み込まれるのではないかと不安があります。

ロシア軍の軍事作戦目標は、ルハンスク州・ドネツク州を独立させること、抑圧されているロシアシベリアの保護すること、首都キーウの占領です。そして、ヘルソン州等の南部からの侵襲です。ロシアの侵襲作戦がうまく行っていない理由は、5つの方向から侵襲しなごにより、力が分散してしまっただけです。また、それぞれの司令が別々の作戦を行っており、ロ

ウクライナ情勢が台湾に伝播する可能性についてですが、ロシアとウクライナの関係、中国と台湾の関係は、核心的利益という点で共通しています。プーチン政権と習近平政権は共に独裁的な長期政権です。ウクライナにはロシア寄りの人びとが、台湾には中国寄りの人びとが住んでいます。ことがあれば、その人びとを守るという理由で侵襲することが考えられます。また、ウクライナはNATOに加盟していないため、ロシアの侵襲は、中国にとってもいいモデルケースとなってしまうでしょう。

ウクライナ情勢が台湾に伝播する可能性についてですが、ロシアとウクライナの関係、中国と台湾の関係は、核心的利益という点で共通しています。プーチン政権と習近平政権は共に独裁的な長期政権です。ウクライナにはロシア寄りの人びとが、台湾には中国寄りの人びとが住んでいます。ことがあれば、その人びとを守るという理由で侵襲することが考えられます。また、ウクライナはNATOに加盟していないため、ロシアの侵襲は、中国にとってもいいモデルケースとなってしまうでしょう。

ウクライナにおいてロシアは約15,000発のロケットミサイルを発射しました。その内約7割が民間施設に着弾しています。ウクライナにはドニエプル川という大きな川があります。川を渡って危険な場合は、同じ場所に留まり、相手が近づいた時に攻撃する方が有利な場合もあります。ウクライナは土地が肥沃であるため、ぬか

が発生しやすい地域です。3月から11月は凍結しないため、戦車が走りやすくなります。ウクライナは戦車や装甲車が不足しています。

北朝鮮は「火星17」という大陸間弾道ミサイルを先月飛ばしました。1時間近く飛んで、日本のEJ2に落下しました。今年の春に同じミサイルを飛ばしましたが、失敗しました。彼らは米韓から脅威を受けていると思込んでいます。成功するまでミサイルを飛ばすのです。その頃、米韓が4年振りに共同訓練を行っていました。分析によると、北朝鮮はそれにかなり恐怖感を感じていたようです。特にアメリカの超音速爆撃機が怖いのです。レーダーにもほとんど映りません。北朝鮮の防衛力はほぼミサイルに頼っています。防空能力はありません。「選択と集中」が進んでいます。

アメリカの偵察衛星「キーホール」の性能は非常に優れており、車のナンバーも読むことが可能です。しかし、弱点は日に1回しか確認できません。そこで、移動できるTEL(輸送起立発射機)が開発されました。北朝鮮でも使われています。自分で移動して、どこからでもミサイルを発射できます。



中澤信一准教授(左)と大内研治教授

中国の姿勢についてお話しします。中国は話し合いによる解決を求めながら、ウクライナ軍に対する評価もしています。ロシアは世界から非難されていますが、中国は賛成も反対もしません。中立的な立場をとることで、実際にはロシアの味方になっています。また、ロシアの経済を支援しており、水面下でロシアの戦力を支えています。

ウクライナにおいてロシアは約15,000発のロケットミサイルを発射しました。その内約7割が民間施設に着弾しています。ウクライナにはドニエプル川という大きな川があります。川を渡って危険な場合は、同じ場所に留まり、相手が近づいた時に攻撃する方が有利な場合もあります。ウクライナは土地が肥沃であるため、ぬか

が発生しやすい地域です。3月から11月は凍結しないため、戦車が走りやすくなります。ウクライナは戦車や装甲車が不足しています。

北朝鮮は「火星17」という大陸間弾道ミサイルを先月飛ばしました。1時間近く飛んで、日本のEJ2に落下しました。今年の春に同じミサイルを飛ばしましたが、失敗しました。彼らは米韓から脅威を受けていると思込んでいます。成功するまでミサイルを飛ばすのです。その頃、米韓が4年振りに共同訓練を行っていました。分析によると、北朝鮮はそれにかなり恐怖感を感じていたようです。特にアメリカの超音速爆撃機が怖いのです。レーダーにもほとんど映りません。北朝鮮の防衛力はほぼミサイルに頼っています。防空能力はありません。「選択と集中」が進んでいます。

アメリカの偵察衛星「キーホール」の性能は非常に優れており、車のナンバーも読むことが可能です。しかし、弱点は日に1回しか確認できません。そこで、移動できるTEL(輸送起立発射機)が開発されました。北朝鮮でも使われています。自分で移動して、どこからでもミサイルを発射できます。



理路整然と話す堀井泰蔵氏

陸上防衛の現在

陸上自衛隊中部方面総監 陸将 堀井泰蔵氏

陸上自衛隊中部方面総監 陸将 堀井泰蔵氏

陸上自衛隊中部方面総監 陸将 堀井泰蔵氏

陸上自衛隊中部方面総監 陸将 堀井泰蔵氏

アメリカの偵察衛星「キーホール」の性能は非常に優れており、車のナンバーも読むことが可能です。しかし、弱点は日に1回しか確認できません。そこで、移動できるTEL(輸送起立発射機)が開発されました。北朝鮮でも使われています。自分で移動して、どこからでもミサイルを発射できます。

アメリカの偵察衛星「キーホール」の性能は非常に優れており、車のナンバーも読むことが可能です。しかし、弱点は日に1回しか確認できません。そこで、移動できるTEL(輸送起立発射機)が開発されました。北朝鮮でも使われています。自分で移動して、どこからでもミサイルを発射できます。

アメリカの偵察衛星「キーホール」の性能は非常に優れており、車のナンバーも読むことが可能です。しかし、弱点は日に1回しか確認できません。そこで、移動できるTEL(輸送起立発射機)が開発されました。北朝鮮でも使われています。自分で移動して、どこからでもミサイルを発射できます。

ロシアのウクライナ侵襲の戦略

ロシアのウクライナ侵襲の戦略

ロシアのウクライナ侵襲の戦略

ロシアのウクライナ侵襲の戦略

ロシアのウクライナ侵襲の戦略

ロシアのウクライナ侵襲の戦略

ロシアのウクライナ侵襲の戦略

ロシアのウクライナ侵襲の戦略

歴史勉強会

中島サロン

第101回
3月11日

錦城閣

北海道と東北の縄文遺跡群が世界遺産に登録されました。1万5千年以上前からありましたので、世界で最も古い文明なのです。こういったことを学校で教えないければなりません。

神話についても教えません。誇りを持たせる教育をしていません。人類は700万年前にアフリカで誕生したと言われています。そこから世界に散らばり、日本には約3万8千年前に人類が住み着いたと言われています。日本は東の終着点です。世界の民族の素晴らしい文化や技術が残ったのでしよう。それが縄文文化です。この縄文文化を伝えていくのが神社です。

イザナギとイザナミは親神様から「日本は混沌としていて、から作り固めなさい」と命じられます。島

の名前がたぐさん登場します。我々の祖先はここを通過して日本列島にやって来たのがわかります。土に種を蒔けば芽が出るというところに我々の祖先は不思議な力を感じていました。他にもたぐさん偉大な自然の力を見出すことができます。しかし、現代人はそれを当り前のように感じています。そのような感覚があると、不平不満が出るようになります。

我々の祖先の考え方は、神様の分け御霊をいただくことで魂を磨き、再び神様の元へ帰るというものです。私が春日大社で仕事をしていたとき、中外製薬の社長と出会い、機関紙をいただくようになります。そこに創業者のお父様の臨終

のことが書かれていました。「金も名誉も手に入れることができな。しかし、一番大切なことはかにか世の中のためにあったかということだ」と言っている。多々の人は他人のために働くことは損だと考えますが、それは魂を磨くことになるのです。これが最も大切なことなのです。このような教育が必要だと思います。

天の岩戸開きの話では、乱暴に振舞った須佐之男命に天照大御神が怒りになり、岩の中で隠れてしまい、太陽の有難さを初めてわかった神様達が感謝の祈りを捧げます。神道の祝詞の内容はほとんどが感謝です。天宇受売命が楽し

今は大変高価ですが、昔は檜がたぐさんあり、成長すれば自然に皮がはがれていきました。当時は不用品だった物を利用したのです。茅も雑草のように生えていました。茅も雑草のように利用しました。そして、糞尿も無駄にせず、肥しとして利用しました。

外国人が糞尿を肥しとして利用し出したのは最近のことです。いかに日本人が優れていたかが分かります。

最近日本では、山を持っていても何も利益を生まないため、手放す人が多くいます。中国人がそれらの山を安く買い進めており、水源が外国人の手に渡っているのです。何の手も打たない行政に対して憤りを感じます。

出雲の大神は高さ24メートルもあり、最大の神社です。平安時代にはその倍の48メートルもありました。建築の専門家でも「そんな高い建物を大昔に建てられた」と言っていました。

ですから、おかしさをなくさん食べる必要がありません。米へんに康と書くこと「ぬか」と読みます。つまり、糠の付いた玄米を食べると健康になるのです。先人は玄米を食べていましたので、おかしさをあまり必要としないから、余分に殺生しなくて良かったのです。これから「勿体ない」の心が必要になります。

神社には檜皮葺が使われます。

神話に学ぶ先人の知恵

枚岡神社 宮司

中東 弘氏



ユーモアを交えて話す中東弘宮司

く踊り、他の神様が大笑いしました。そこで天照大神は、やっとなかたが、中外製薬の社長と出会い、機関紙をいただくようになります。そこに創業者のお父様の臨終

3月14日4年ぶりに日本国練習艦隊歓迎の夕べがハイアットリージェンシーホテルで開催され、新任幹部の皆様をお迎えしての時間を過ごしました。入場された新任幹部の皆様は、頼もしく感じました。コロナ禍の影響を鑑みて練習艦かしま・はたかぜでの艦上レセプションは縮小開催となりましたが、多くの支援者の皆様による歓迎の夕べは大変盛況でした。

(喜連川昌子)

令和5年度北部支部定時総会報告



浅尾守支部長(左)と下淳市氏



挨拶する浅尾守支部長



講演する下淳市氏

5月21日、舞鶴地方総監、下淳市氏による防衛講話、会員様等における意見交換と有意義な一時を過ごすことができました。5号議案の中で、自衛隊協力会および関係各部との連携強化を図るため、「主要役員2人体制」に変更、選出ができました。

これから未来に向け、自衛隊協力会機関との連携を強化し、事業活動を広め、参加したくなるような新しい流れを作ってまいります。

「戦艦大和を旗艦とする艦隊戦史慰霊塔」1945年4月連合軍が上陸した沖縄へ向け、大和を旗艦とする特攻艦隊が出撃。米空母艦隊の空襲を受け、大和以下6隻が沈没し、将兵およそ7,000人が戦死しました。

終戦から20年余りを経て1968年、彫刻家中村信也さんによる高さ24メートルの慰霊塔が完成し、世界平和を祈るシンボルとして南の海を見守り続けて来ました。

クラウドファンディング

慰霊塔を守る

大和が沈んだ4月7日に合わせて毎年行われる慰霊祭はコロナ禍でも途切れる事なく続いて来ました。戦争のない平和な世界を願って、伊仙町からメッセージを発信し続けています。

この慰霊塔を守り続けるために、伊仙町役場きゅうらち観光課分室が窓口となって、ガバメントクラウドファンディングを立ち上げ活動されています。

クラウドファンディング実施期間は今年の8月1日(火)〜10月29日(日)の90日間です。伊仙町戦艦大和で検索してください。

(高村明美)

練習艦隊お出迎え

日本国練習艦隊大阪港入港に想いを寄せて



練習艦隊を迎える



凛々しい新任幹部



横断幕を掲げる



千僧駐屯地周年行事 (5月21日)



大久保駐屯地周年行事懇親会 (5月28日)

行事アラカルト

関防会



空自奈良基地周年行事 (6月3日)

今年の総会で事務局長に選任されました菊池哲也と申します。昨年度は会長の辞任や事務局の移転等があり、何かと物騒な年度となっていました。今年度からは松田新会長が「新年関防会」というテーマを掲げ、多くの新会員との交流を活発化させ、自衛隊との連絡もより密にすることで、会員のみならず、会を運営していく所存です。お気軽にご意見・ご希望をお寄せください。「新生関防会」のため、事務局長として一杯動いさせていただきます。

(菊池哲也)

編集後記